

ASLAYER^{アスレイヤC} C

改質アス 常温複合工法

ASLAYER C

—アスレイヤC—

さらに進化!



改質アスファルトシートと 常温塗膜材を融合した常温複合法

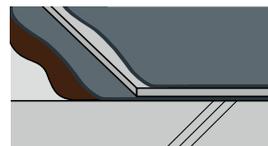


Point
01

優れた水密充填性と防水耐久性

～塗ると貼るの複合法～

改質アスファルトシートが防水層としての耐久性を、改質アスファルト系塗膜防水材が水路をふさぐ高い水密性を、二つが融合することで、アスファルト防水と同等の安心感が得られます。



Point
02

火を使えない現場に最適

火を用いることなく施工できるため、火気禁止の現場でも安心して採用いただけます。



Point
03

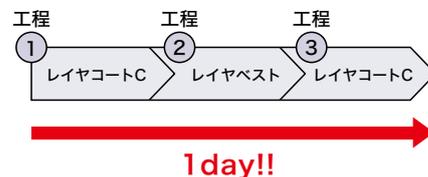
工期短縮・スピーディ

1日で上掛けまで施工可能※

気温に左右されにくい、2液反応硬化型塗膜材を用いることで、夏も冬もしっかり塗膜が硬化します。

規模に応じて1日で上掛け工程までの施工が可能となります。

※「レイヤベスト」を用いた仕様の場合。面積や作業人員により異なります。



Point
04

屋内での施工環境に配慮

使用する塗膜防水材すべてで「F☆☆☆☆」および「VOC(揮発性有機化合物)自主規制表示登録」を取得しており、屋内でもホルムアルデヒドおよびVOCを心配することなくご使用になれます。

※屋内での施工時は換気を充分に行ってください。

F☆☆☆☆について

2003年7月の建築基準法改正により、内装仕上げ材に使用するホルムアルデヒドを拡散する建材の使用制限が定められています。

F☆☆☆☆	制限なしに使える
F☆☆☆	使用範囲が制限される
F☆☆	使用範囲が制限される
無等級	使用禁止

正確な施工を行うための工具

正しく工具を使用する事で、正確な施工が可能となります。

ゴムクシバケ
C-S/C-L



レイヤコートC
塗布用の刷毛



ゴムクシバケCを用いた施工の様子

アスレイヤローラー



平面部へのルーフィング貼付け時
に用いる転圧作業用ルーフ押し器



アスレイヤローラーを用いた施工の様子



屋上の保護防水
露出防水どちらもOK



浴室・厨房・トイレなど
屋内防水工法に



人工地盤等外構防水に

新しいアスレイヤCの「進化ポイント」はココ

進化 +1

Point

塗膜材をカラー化し、 攪拌時間短縮

2液それぞれを着色化しました。目視による攪拌管理が容易かつ確実に進めるようになったことから、攪拌作業の時間管理が不要となり、従来の約3分⇒1分強と大幅短縮を実現しました。



共通A剤 B剤 1分強でグレー系色になり、攪拌完了

進化 +2

Point

高い初期接着性で納まり を強化するレイヤベスト

レイヤベストは、従来材(レイヤソフト)に比べ、レイヤコートCとの初期接着性を向上させたルーフィングです。薄く柔軟性がある特性を残しつつ、ルーフィング裏面を不織布とすることで素早くしっかりと密着し、施工翌日から十分な接着強度を発揮します。



裏面を不織布に



ルーフィングをレイヤコートC塗膜材から剥がすと塗膜材ごと剥がれ、完全に塗膜材と接着していることがわかります。

進化 +3

Point

高い立上りも納めやすい マットFCII

立上りが高い場合やパイプ周りなど、レイヤベストでは納まりにくい場所で活躍するのが「マットFCII」です。メッシュを埋める要領で塗膜材を施工するため、塗布量を目視で確認できます。



表側：メッシュ面
裏側：不織布面



塗布量を目視確認が可能。

進化 +4

Point

技術審査証明を取得

公共建築工事標準仕様と同等の性能を有するとして(一財)日本建築センターより、技術審査証明(建築技術)を取得しています。
※技術審査証明については、14ページをご覧ください。

種別	公共建築工事標準仕様	アスレイヤC
屋根露出防水	D-1,D-2,D-3,D-4	ZSL-2S
屋根露出断熱防水	DI-1,DI-2	ZSL-200S,ZSL-300S
屋根保護防水	A-1,A-2,A-3	ZPL-2S,ZPL-1
	B-1,B-2,B-3	ZPL-2S
屋根保護断熱防水	AI-1,AI-2,AI-3	ZPL-200S,ZPL-100
	BI-1,BI-2,BI-3	ZPL-200S
屋内防水	E-1,E-2	ZIL-1

仕様番号
の見方

ZPL

適用部位

ZPL 屋上・保護コンクリート仕上げ
ZSL 露出
ZIL 屋内
-V 立上り部

200

積層数

1※ 1層 100 1層・断熱
2※ 2層 200 2層・断熱
300 2層・断熱・防湿層

※立上り部はルーフィング枚数

S

[平面部]

S 絶縁
- 密着

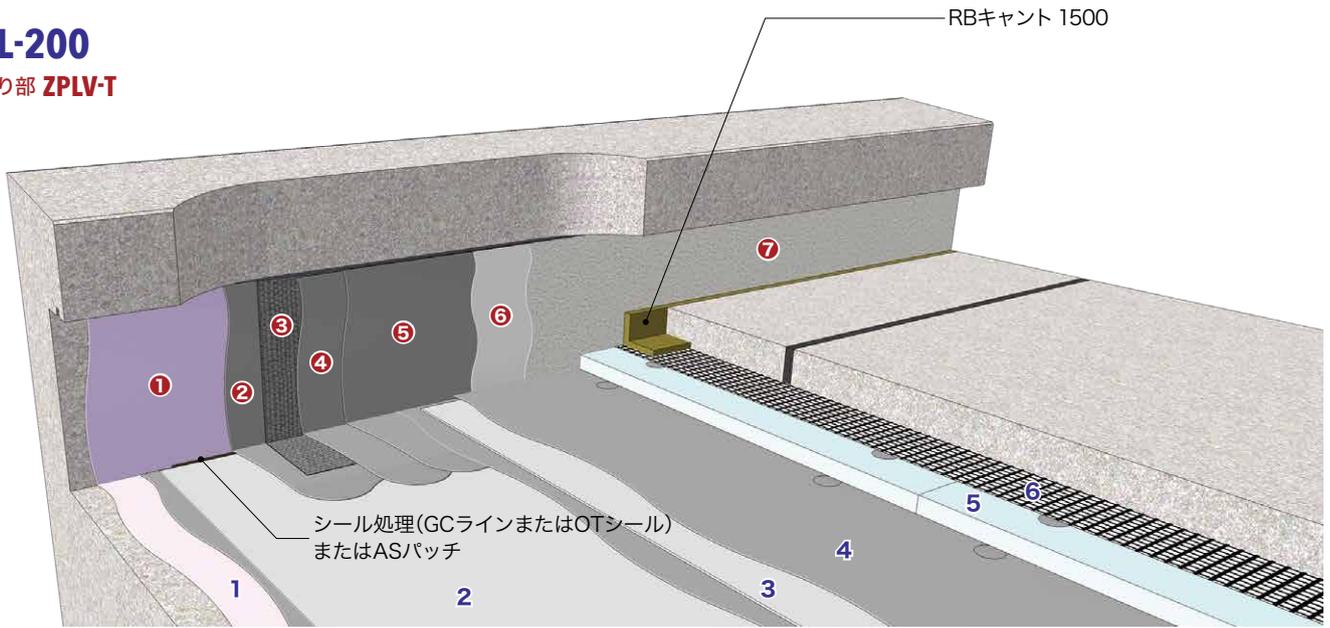
[立上り部]

T マットFCII 塗膜仕上げ
T砂付 マットFCII 砂付仕上げ
B レイヤベスト保護仕上げ
BT レイヤベスト塗膜仕上げ
B砂付 レイヤベスト砂付仕上げ
H マットFCII保護仕上げ
F 他工法との複合仕様

保護コンクリート仕上げ

ZPL-200

立上り部 ZPLV-T



防水仕様

保護コンクリート仕上げ

平面部

ZPL-2S

非断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安: 5kg/m²

技術審査証明:

A-1、2、3およびB-1、2、3各仕様対応

(単位:/m ²)		
1	水性プライマー-L	0.2kg
2	ガムクールFS	
3	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
4	レイヤコートC	0.8kg
5	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

ZPL-2

非断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安: 6kg/m²

(単位:/m ²)		
1	水性プライマー-L	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
4	レイヤコートC	0.8kg
5	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

立上り部

ZPLV-T

塗膜仕上げ (単位:/m ²)			
①	水性プライマー-L	0.2kg	
②	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
③	マットFCII		
④	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
⑥	SPベース	0.45kg	
⑦	保護塗料	SPサーモコート	0.4~0.6kg
		SPファインカラー	0.15~0.3kg
		SPミッドカラー	0.2~0.3kg

ZPL-200S

断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安(断熱材60mm): 7kg/m²

技術審査証明:

AI-1、2、3およびBI-1、2、3各仕様対応

(単位:/m ²)		
5	RBボード 又は スタイロフォームRB-GK-II レイヤコートC 立上り用 点貼り	
6	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

ZPL-200

断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安(断熱材60mm): 8kg/m²

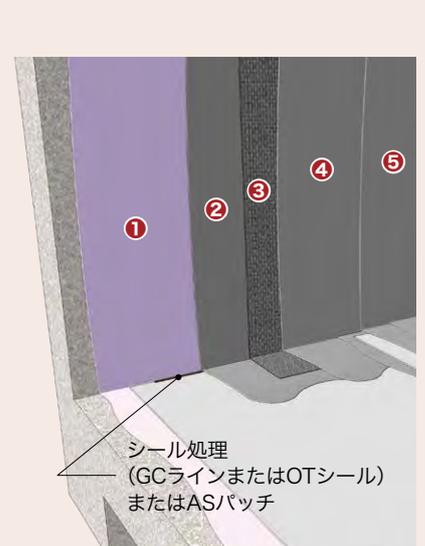
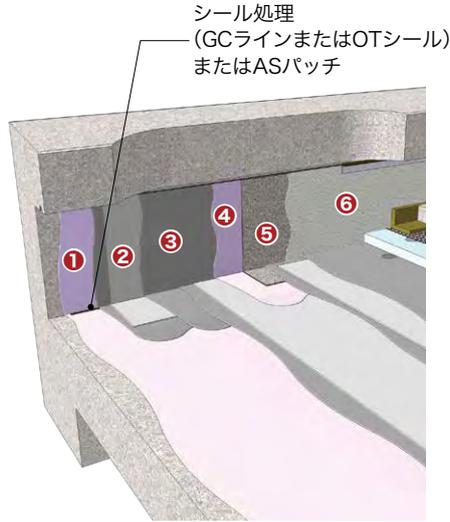
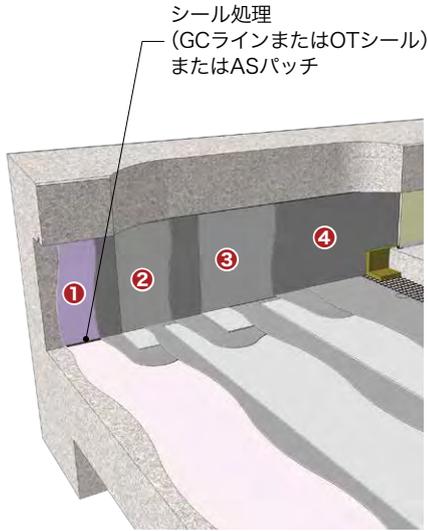
(単位:/m ²)		
5	RBボード 又は スタイロフォームRB-GK-II レイヤコートC 立上り用 点貼り	
6	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

ZPLV-T 砂付

砂付仕上げ (単位:/m ²)			
⑥	水性プライマー-L	0.15kg	
⑦	ガムクールキャップ(端部GCライン)		
⑧	保護塗料	SPサーモコート※1	0.8~1.2kg
		SPファインカラー	0.4~0.6kg
		SPミッドカラー	0.5~0.7kg

※1 SPサーモコートは2回塗り計です。

立上り部 オプション



ZPLV-2B

ZPLV-1B 砂付

ZPLV-H

立上りが高い場合や、曲面など複雑形状時はZPLV-Hをご採用いただけます。

保護仕上げ	(単位:/m ²)
① 水性プライマーL	0.2kg
② レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
③ レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
④ レイヤコートC 立上り用	0.8kg

※工程②をガムクールFXに変更することができます。

砂付仕上げ	(単位:/m ²)
① 水性プライマーL	0.2kg
② レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
③ レイヤコートC 立上り用	0.8kg
④ 水性プライマーL	0.15kg
⑤ ガムクールキャップ(端部GCライン)	

⑥ 保護 塗料	SPサーモ コート※1	SPファイン カラー	SPミッド カラー
	0.8~1.2kg	0.4~0.6kg	0.5~0.7kg

※1 SPサーモコートは2回塗り計です。

保護仕上げ	(単位:/m ²)
① 水性プライマーL	0.2kg
② レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
③ マットFCII	
④ レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
⑤ レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg

※防水層端末金物は不要です。
※モルタル仕上げの場合は、最終工程にPシートを追加の上、ラス網引掛用金物「モルタルハンガー」を使用してください。

共通注意事項

- ・平面部ZPL-2S、ZPL-2、ZPL-200S、ZPL-200に対し、立上り部はZPLV-2B、ZPLV-T、同砂付、ZPLV-1B砂付、ZPLV-Hのいずれも対応できます。
- ・水性プライマーLをOTプライマーA(0.2kg/m²)に替えることができます。

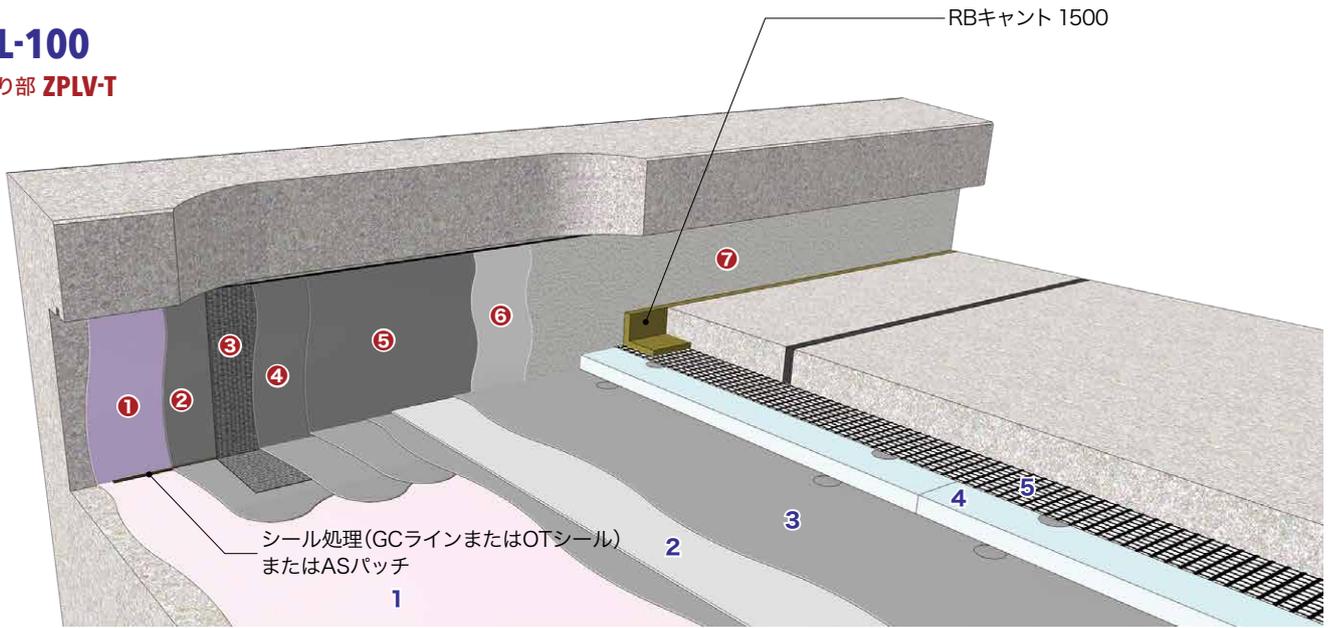
立上り部 共通注意事項

- ・入隅部は塗膜材の膜厚確保のため、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シーラ材(GCラインまたはOTシール)約50cc/mまたはASパッチを選定し、ご使用下さい。
- ・砂付仕上げの場合、防水層端末金物が必要です。

保護コンクリート仕上げ

ZPL-100

立上り部 ZPLV-T



防水仕様

保護コンクリート仕上げ

平面部

ZPL-1 非断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安: 3.5kg/m²

技術審査証明: A-1、2、3仕様対応

		(単位: /m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤコートC	0.8kg
4	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

ZPL-100 断熱

適正勾配: 1/100~1/50

重量目安(断熱材60mm): 5kg/m²

技術審査証明: AI-1、2、3仕様対応

		(単位: /m ²)
4	RBボード 又は スタイロフォームRB-GK-II レイヤコートC 立上り用 点貼り	
5	絶縁クロス1000 レイヤコートC 立上り用 点貼り	

立上り部

ZPLV-T

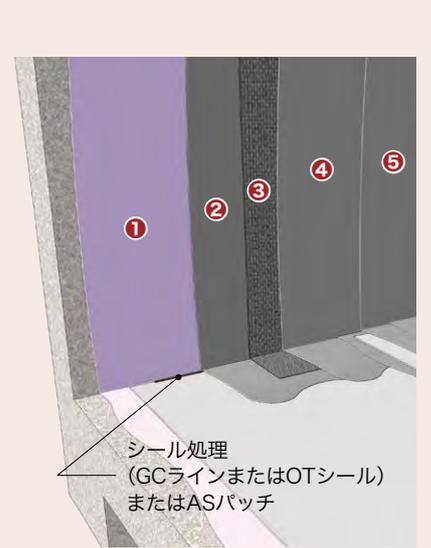
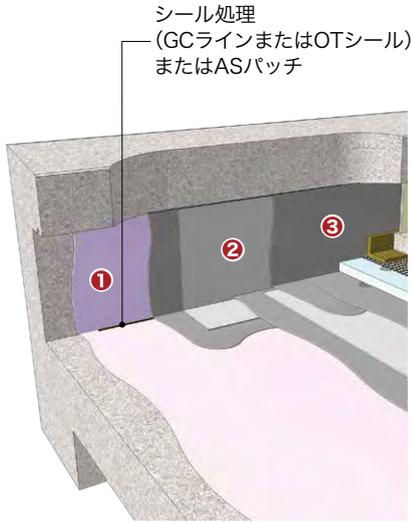
		(単位: /m ²)		
塗膜仕上げ				
①	水性プライマーL	0.2kg		
②	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg		
③	マットFCII			
④	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg		
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg		
⑥	SPベース	0.45kg		
⑦	保護塗料	SPサーモコート 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.15~0.3kg	SPミッドカラー 0.2~0.3kg

ZPLV-T 砂付

		(単位: /m ²)		
砂付仕上げ				
⑥	水性プライマーL	0.15kg		
⑦	ガムクールキャップ (端部GCライン)			
⑧	保護塗料	SPサーモコート※1 0.8~1.2kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg

※1 SPサーモコートは2回塗り計です。

立上り部 オプション



ZPLV-1B

ZPLV-1B 砂付

ZPLV-H

立上りが高い場合や、曲面など複雑形状時はZPLV-Hをご採用いただけます。

保護仕上げ	(単位:/m ²)
① 水性プライマーL	0.2kg
② レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
③ レイヤコートC 立上り用	0.8kg

※動きが想定される下地(S造、ALC等)の場合は立上り入隅部に増貼り(レイヤコートC立上り用1.2~1.3kg/m²+レイヤベスト)が必須です。

砂付仕上げ	(単位:/m ²)			
① 水性プライマーL	0.2kg			
② レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg			
③ レイヤコートC 立上り用	0.8kg			
④ 水性プライマーL	0.15kg			
⑤ ガムクールキャップ (端部GCライン)				
⑥ 保護塗料	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>SPサーモコート※1 0.8~1.2kg</td> <td>SPファインカラー 0.4~0.6kg</td> <td>SPミッドカラー 0.5~0.7kg</td> </tr> </table>	SPサーモコート※1 0.8~1.2kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg
SPサーモコート※1 0.8~1.2kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg		

※1 SPサーモコートは2回塗り計です。

保護仕上げ	(単位:/m ²)
① 水性プライマーL	0.2kg
② レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
③ マットFCII	
④ レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
⑤ レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg

※防水層端金物は不要です。
※モルタル仕上げの場合は、最終工程にPシートを追加の上、ラス網引掛用金物「モルタルハンガー」を使用してください。

共通注意事項

- ・平面部ZPL-1、ZPL-100に対し、立上り部はZPLV-T、同砂付、ZPLV-1B、同砂付、ZPLV-Hのいずれも対応できます。
- ・取り扱いについては別途資料がございますのでお問い合わせください。
- ・水性プライマーLをOTプライマーA(0.2kg/m²)に代えることができます。

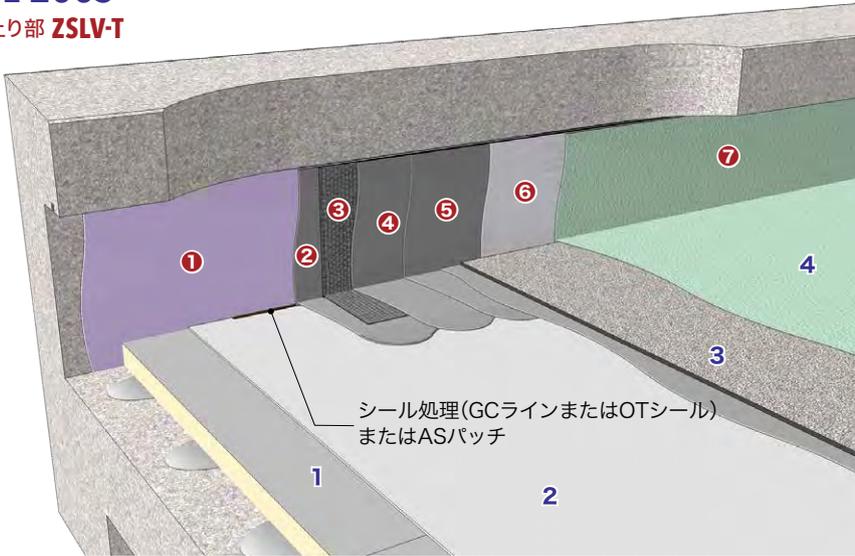
立上り部 共通注意事項

- ・入隅部は塗膜材の膜厚確保のため、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シーリング材(GCラインまたはOTシーリング)約50cc/mまたはASパッチを選定し、ご使用下さい。
- ・砂付仕上げの場合、防水層端金物が必要です。

露出砂付仕上げ

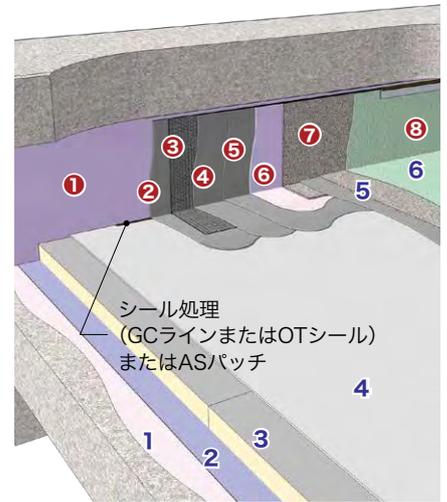
ZSL-200S

立上部 ZSLV-T



ZSL-300S

立上部 ZSLV-T 砂付



防水仕様

露出砂付仕上げ

平面部

ZSL-300Sシリーズ

断熱

適正勾配: 1/50~1/20
重量目安(断熱材50mm): 11kg/m²
技術審査証明: DI-1、2仕様対応

防湿層あり

		(単位:/m ²)				
1	水性プライマー-L	0.2kg				
2	ダンパーシート					
3	ギルフォーム					
4	ガムクールFS					
5	レイヤキャップ レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg				
6	保護塗料	SP サーマコート	SP ファインカラー	SP ミッドカラー	SP クリーンカラー	
		0.8~1.2 kg※1	0.4~0.6 kg	0.5~0.7 kg	0.5~0.6 kg※2	
		仕様番号	ZSL-300S・TH	ZSL-300S・SF	ZSL-300S・SD	ZSL-300S・SC

ZSL-200Sシリーズ

断熱

適正勾配: 1/50~1/20
重量目安(断熱材50mm): 10kg/m²
技術審査証明: DI-1、2仕様対応

		(単位:/m ²)				
1	ギルフォーム クールボンド点貼り*	0.35kg				
2	ガムクールFS					
3	レイヤキャップ レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg				
4	保護塗料	SP サーマコート	SP ファインカラー	SP ミッドカラー	SP クリーンカラー	
		0.8~1.2 kg※1	0.4~0.6 kg	0.5~0.7 kg	0.5~0.6 kg※2	
		仕様番号	ZSL-200S・TH	ZSL-200S・SF	ZSL-200S・SD	ZSL-200S・SC

*クールボンドを水性プライマー-MS(0.2kg/m²)+セメントMS線状塗布(0.6kg/m²)に代えることができます。

ZSL-2Sシリーズ

非断熱

適正勾配: 1/50~1/20
重量目安: 8kg/m²
技術審査証明: D-1、2、3、4仕様対応

		(単位:/m ²)				
1	水性プライマー-L	0.2kg				
2	ガムクールFS					
3	レイヤキャップ レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg				
4	保護塗料	SP サーマコート	SP ファインカラー	SP ミッドカラー	SP クリーンカラー	
		0.8~1.2 kg※1	0.4~0.6 kg	0.5~0.7 kg	0.5~0.6 kg※2	
		仕様番号	ZSL-2S・TH	ZSL-2S・SF	ZSL-2S・SD	ZSL-2S・SC

※1 SPサーマコートは2回塗り計です。
※2 SPクリーンカラーの場合、堆積物が予測される部位は、0.7~0.8kg/m²(2回塗り計)が必要です。

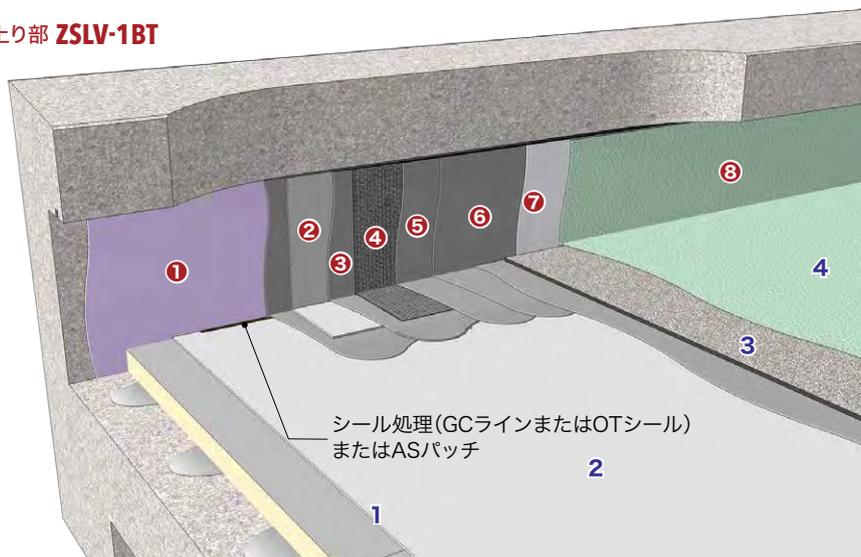
P.7、8共通注意事項

- ・平面部ZSL-200S、ZSL-300S、ZSL-2Sに対し、立上部はZSLV-T、同砂付、ZPLV-1BT、ZPLV-1B砂付のいずれも対応できます。
- ・入隅部は塗膜材の流れ込み防止処置として、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シール材(GCラインまたはOTシール)約50cc/mまたはASパッチのいずれかを選定し、ご使用下さい。
- ・砂付仕上げの場合、防水層端末金物が必要です。

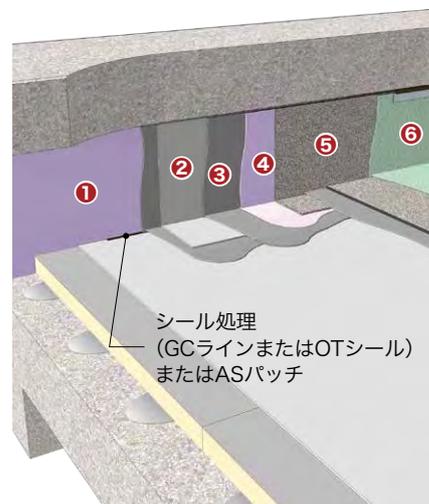
改修工事への対応

- ・ZSL-200S、ZSL-300S、ZSL-2Sは改修工事にも対応可能です。改修の場合、平面部工程1を下地処理とし、立上部既存防水層については原則撤去とします。
- ・既存が塩ビシート防水、ウレタン塗膜防水の場合は営業員までご相談ください。

立上り部 ZSLV-1BT



立上り部 ZSLV-1B 砂付



防水仕様

露出砂付仕上げ

立上り部

ZSLV-T

塗膜仕上げ		(単位:/m ²)			
①	水性プライマーL	0.2kg			
②	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
③	マットFCII				
④	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑥	SPベース	0.45kg			
⑦	保護塗料	SPサーモコート 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.15~0.3kg	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	

ZSLV-1BT

塗膜仕上げ		(単位:/m ²)			
①	水性プライマーL	0.2kg			
②	レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg			
③	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
④	マットFCII				
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑥	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑦	SPベース	0.45kg			
⑧	保護塗料	SPサーモコート 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.15~0.3kg	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	

ZSLV-T 砂付

砂付仕上げ		(単位:/m ²)			
⑥	水性プライマーL	0.15kg			
⑦	ガムクールキャップ(端部GCライン)				
⑧	保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg*1	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg*2

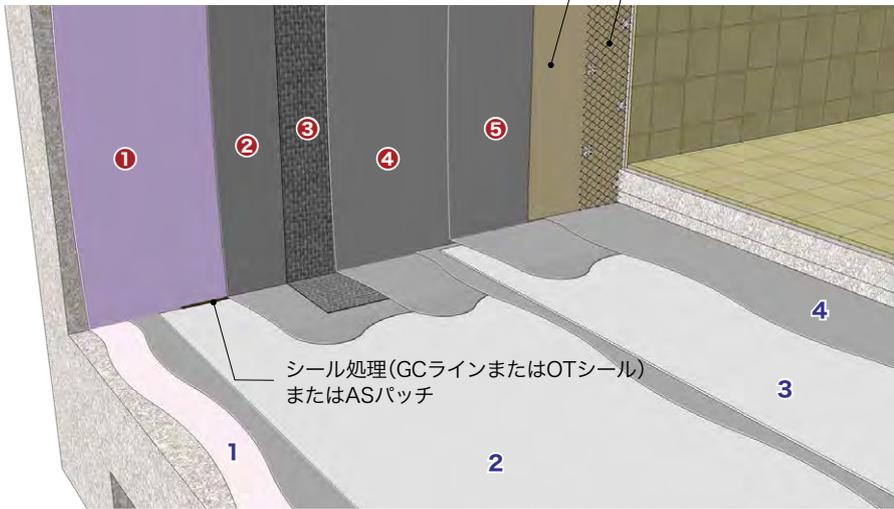
ZSLV-1B 砂付

砂付仕上げ		(単位:/m ²)			
③	レイヤコートC 立上り用	0.8kg			
④	水性プライマーL	0.15kg			
⑤	ガムクールキャップ(端部GCライン)				
⑥	保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg*1	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	

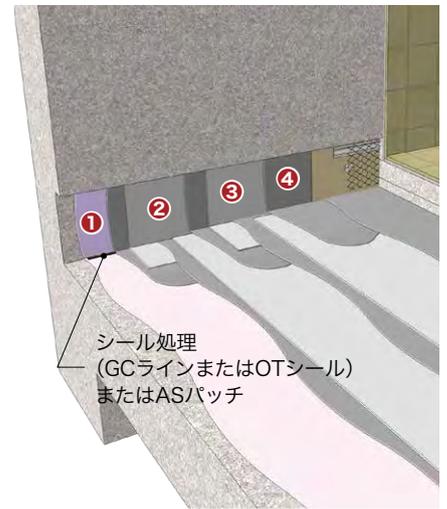
屋内仕様

ZIL-2

立上り部 ZILV-H



立上り部 ZILV-2B



平面部

ZIL-2

非断熱

重量目安: 6kg/m²

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
4	レイヤコートC	0.8kg

立上り部

ZILV-H

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
3	マットFCⅡ	
4	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
5	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg

※防水層端金物は不要ですが、メタルラスを支持するモルタルハンガーは必要となります。

IZLV-2B

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
4	レイヤコートC 立上り用	0.8kg

※工程②をガムクールFXに変更することができます。

保護モルタル工事の留意点 日本建築学会・建築工事標準仕様書(JASS8)より抜粋

- モルタル調合…セメント:砂=1:3(容積比)
- とんぼ…防水層に200mm間隔程度で千鳥状に取付け
- ラス類…メタルラス(平ラス2号)もしくは溶接金網
- ラス類の立上り端部…防水層立上がり端部より100mm以上上部の位置で金物を用いて下地(躯体)に固定するか、防水層末端部の押え金物に固定する。

共通注意事項

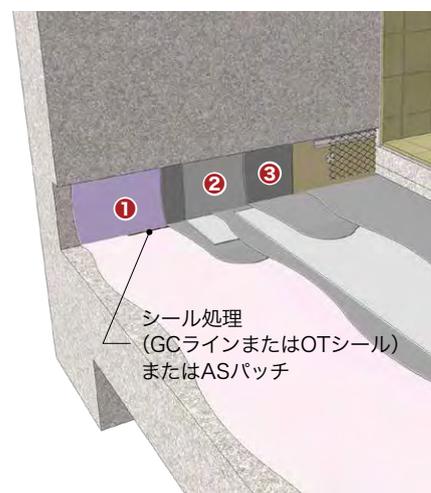
・水性プライマーLをOTプライマーA(0.2kg/m²)に代えることができます。

ZIL-1

立上り部 ZILV-H



立上り部 ZILV-1B



平面部

ZIL-1 非断熱

重量目安: 3.5kg/m²
技術審査証明: E-1、2仕様対応

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤコートC	0.8kg

立上り部

ZILV-H

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
3	マットFCⅡ	
4	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg
5	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg

※防水層端末金物は不要ですが、メタルラスを支持するモルタルハンガーは必要となります。

ZILV-1B

		(単位:/m ²)
1	水性プライマーL	0.2kg
2	レイヤベスト レイヤコートC 立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg
3	レイヤコートC 立上り用	0.8kg

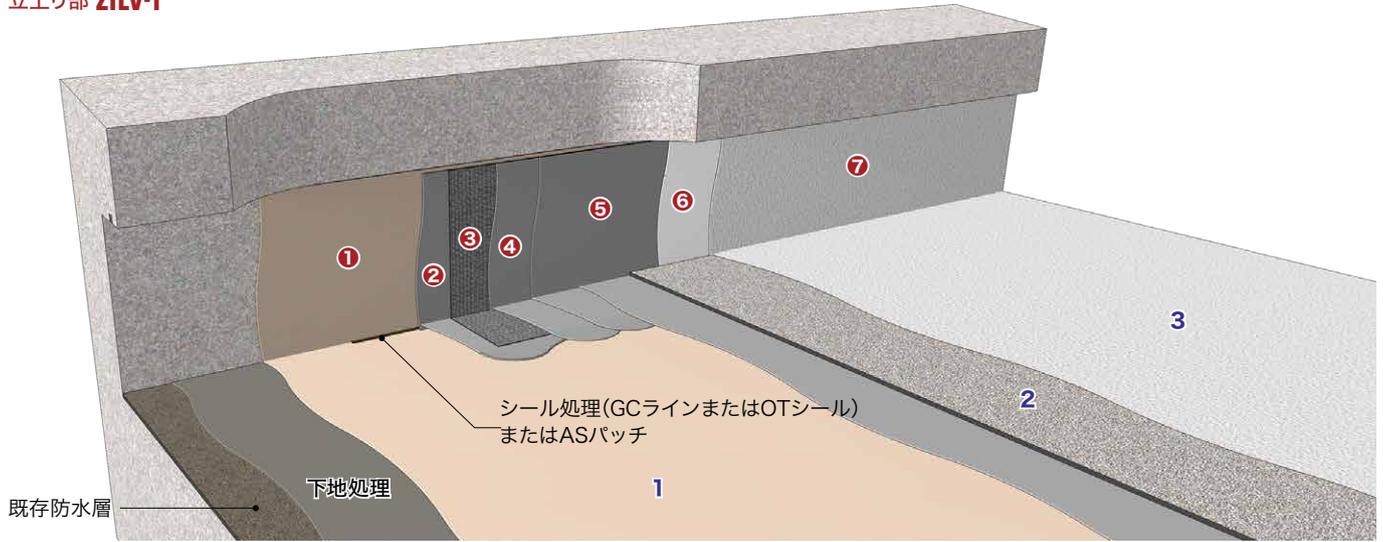
※動きが想定される下地(S造、ALC等)の場合は立上り入隅部に増貼り(レイヤコートC立上り用1.2~1.3kg/m²+レイヤベスト)が必須です。

立上り部 注意事項

- ・立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、最終工程に「Pシート」を追加してください。Pシート、メタルラスの価格は別途となります。
- ・入隅部は塗膜材の流れ込み防止処置として、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シーリング材(GCラインまたはOTシーリング)約50cc/mまたはASパッチのいずれかを選定し、ご使用下さい。

ZSL-1

立上り部 ZILV-T



平面部

ZSL-1

非断熱

適正勾配: 1/50~1/20

重量目安: 6.5kg/m²

		(単位:/m ²)			
—	下地処理 クールベース※1	—			
1	OTプライマー-A※2	0.2kg			
2	レイヤキャップ レイヤコートC 塗布貼付	1.3~1.4kg			
3	保護塗料	SP サーモ コート 0.8~1.2 kg※3	SP ファイン カラー 0.4~0.6 kg	SP ミッド カラー 0.5~0.7 kg	SP クリーン カラー 0.5~0.6 kg※4

※1 クールベースの塗布量目安

下地の種別・状態	塗布量 (目安)
砂付ルーフィング下地	1.4~2.0kg/m ²
水溜り部補修など	最大30mm厚まで
不陸調整	1回の最大塗布5mmまで

※2 平面部工程1のOTプライマー-Aの代わりに水性プライマー-Lは適用できません

※3 SPサーモコートは2回塗り計です。

※4 堆積物が予測される部位は、0.7~0.8kg/m²(2回塗り)が必要です。

※5 立上り既存防水層は原則撤去します。

・砂付仕上げの場合、防水層端末金物が必要です。
・入隅部は塗膜材の流れ込み防止処置として、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シール材(GCラインまたはOTシール)約50cc/mまたはASパッチのいずれかを選定し、ご使用下さい。

立上り部※5

ZSLV-T

		(単位:/m ²)	
①	OTプライマー-A	0.2kg	
②	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
③	マットFCII		
④	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg	
⑥	SPベース	0.45kg	
⑦	保護塗料	SPサーモ コート 0.4~0.6kg	SPファイン カラー 0.15~0.3kg
		SPミッド カラー 0.2~0.3kg	

SLV-T 砂付

		(単位:/m ²)			
⑥	OTプライマー-A	0.2kg			
⑦	ガムクールキャップ(端部GCライン)				
⑧	保護塗料	SP サーモ コート 0.4~0.6 kg	SP ファイン カラー 0.4~0.6 kg	SP ミッド カラー 0.5~0.7 kg	SP クリーン カラー 0.5~0.6 kg※4

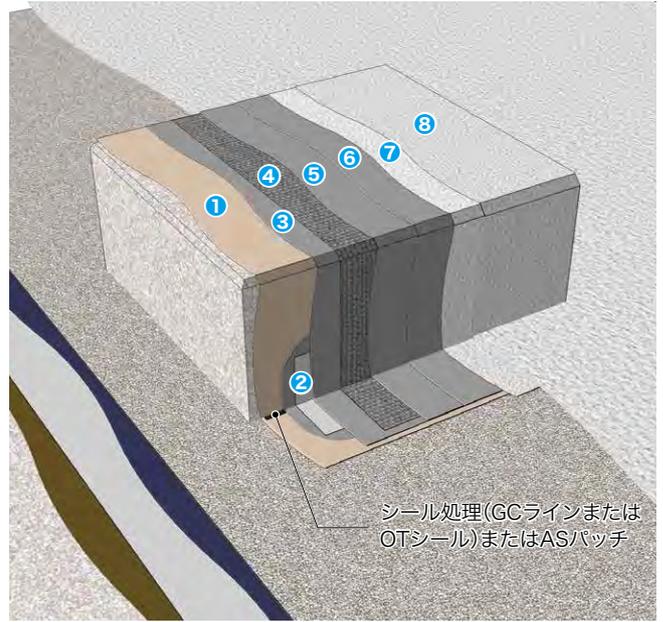
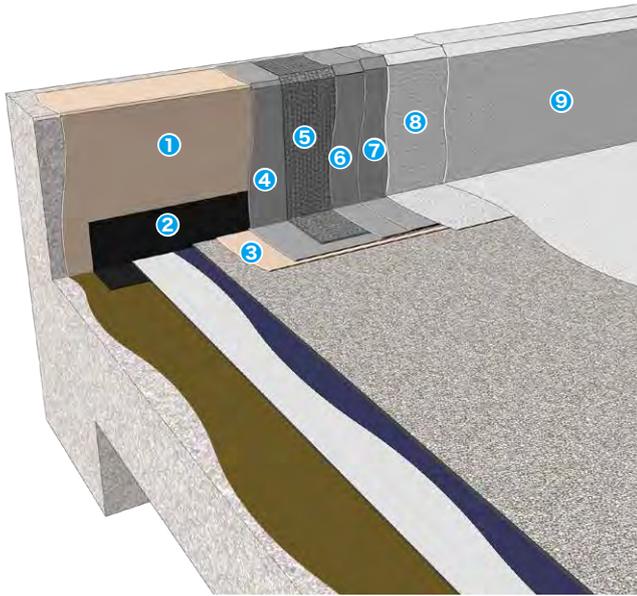
ZSLV-1BT

		(単位:/m ²)			
①	OTプライマー-A	0.2kg			
②	レイヤベスト レイヤコートC立上り用 塗布貼付	1.2~1.3kg			
③	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
④	マットFCII				
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑥	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg			
⑦	SPベース	0.45kg			
⑧	保護塗料	SP サーモ コート 0.4~0.6 kg	SP ファイン カラー 0.15~0.3 kg	SP ミッド カラー 0.2~0.3 kg	SP クリーン カラー 0.2~0.3 kg※4

SLV-1B 砂付

		(単位:/m ²)		
③	レイヤコートC 立上り用	0.8kg		
④	OTプライマー-A	0.2kg		
⑤	ガムクールキャップ(端部GCライン)			
⑥	保護塗料	SPサーモ コート※3 0.8~1.2kg	SPファイン カラー 0.4~0.6kg	SPミッド カラー 0.5~0.7kg

狭隘部・複雑部位・架台廻り等 一立上り塗膜仕上げ



防水仕様
狭隘部・複雑部位・架台廻り等

ZSLV-F 先増貼り

		(単位:/m ²)						
①	OTプライマーA	0.2kg						
②	増貼り ASパッチ							
—	平面部防水層施工							
③	OTプライマーA (平面取合い部)	0.2kg						
④	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
⑤	マットFCII							
⑥	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
⑦	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
⑧	SPベース	0.45kg						
⑨ 保護塗料	SPサーモコート	0.4~0.6kg	SPファインカラー	0.15~0.3kg	SPミッドカラー	0.2~0.3kg	SPクリーンカラー	0.2~0.3kg
	仕様番号	ZSLV-F・TH	ZSLV-F・SF	ZSLV-F・SD	ZSLV-F・SC			

先増貼りの位置とサイズ

ZSLV-F 後増貼り

		(単位:/m ²)						
—	平面部防水層施工							
①	OTプライマーA 平面取合い部を含む	0.2kg						
②	増貼り レイヤコートC 立上り用 +レイヤベスト	1.2~1.3kg						
③	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
④	マットFCII							
⑤	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
⑥	レイヤコートC 立上り用	1.2~1.3kg						
⑦	SPベース	0.45kg						
⑧ 保護塗料	SPサーモコート	0.4~0.6kg	SPファインカラー	0.15~0.3kg	SPミッドカラー	0.2~0.3kg	SPクリーンカラー	0.2~0.3kg
	仕様番号	ZSLV-F・TH	ZSLV-F・SF	ZSLV-F・SD	ZSLV-F・SC			

後増貼りの位置とサイズ

※工程②をレイヤコートC立上り用(1.2~1.3kg/m²)/マットFCII/レイヤコートC立上り用(1.2~1.3kg/m²)に代えることができます。

注意事項

- ・取り合いについては別途資料がございますのでお問い合わせください。
- ・入隅部は塗膜材の流れ込み防止処置として、隙間や凹凸など現場状況に応じて、シール材(GCラインまたはOTシール)約50cc/mまたはASパッチのいずれかを選定し、ご使用下さい。

※工程①のOTプライマーAの代わりに水性プライマーLは適用できません

技術資料

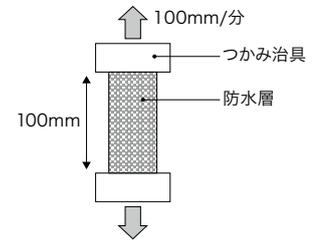
防水層の強度

アスレイヤCはシートと塗膜材を組み合わせることで防水層を形成しています。防水層の強度比較には「抗張積*」を用います。

*抗張積: 防水層の引張り強さ(N)と最大荷重時の伸び率(%)の積で求められる、防水層の破断に要するエネルギーを表す数値。

□試験方法 (JIS A 6013に準拠)

試験体を引張試験機に取り付け、速度100mm/分で試験片が破断するまで引張ります。最大荷重および破断時の変位量を求め、抗張積を計算します。

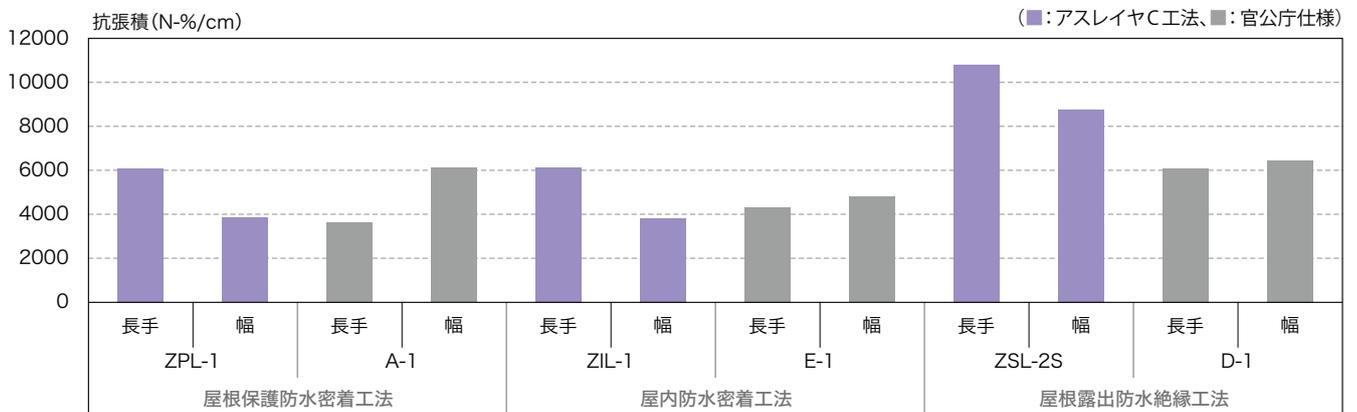


□試験体

アスレイヤC: ZPL-1、ZIL-1、ZSL-2S 公共建築工事標準仕様: A-1、E-1、D-1

□試験結果

下図に試験結果を示します。



アスレイヤCの防水層は、公共建築工事標準仕様と同程度の強度を確保しています。

塗膜材の耐久性

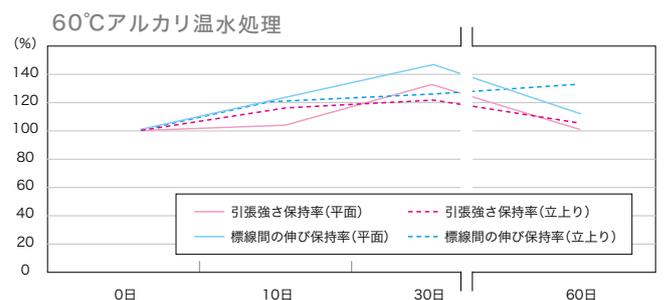
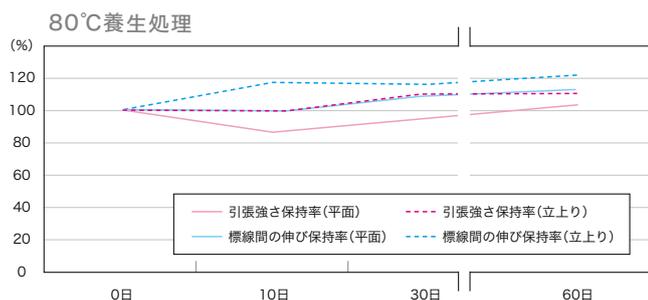
屋外での諸条件を想定して、レイヤコートCの耐久性を確認しました。

□試験方法 (JIS A 6021に準拠)

レイヤコートCをダンベル状にした試験片を、速度500mm/分で試験片が破断するまで引張り、最大荷重および破断時の変位量、破断時の標線間距離から、引張強さ、各伸び率を求めます。

試験は、80℃養生処理および60℃アルカリ温水処理を行った試験片にて行い、それぞれ初期値との差を比較しました。

*値は初期比%



レイヤコートCは各劣化処理においても、初期比約90%以上の耐久性を維持しています。

塗膜材の耐薬品性

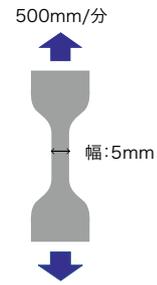
屋外での諸条件を想定して、レイヤコートCの耐薬品性を確認しました。

□試験方法 (JIS A 6021に準拠)

レイヤコートCをダンベル状にした試験片を各種薬品に30日浸漬後、速度500mm/分で試験片が破断するまで引張ります。

最大荷重および破断時の変位置、破断時の標線間距離から、引張強さ、各伸び率を求めます。

※値は初期比%



各種薬品	平面部用		立上り部用	
	引張強さ 初期比	破断時の標線間伸び率 初期比	引張強さ 初期比	破断時の標線間伸び率 初期比
水道水	97	96	110	106
中性洗剤	103	100	134	114
飽和水酸化カルシウム水溶液	102	100	114	110
セメント飽和液	97	96	115	104
10%塩酸	80	86	60	80
10%硫酸	65	82	59	82
10%硝酸	99	34	62	29
10%酢酸	88	90	70	88
10%水酸化ナトリウム水溶液	128	130	114	119
28%アンモニア水	97	103	115	117
10%次亜塩素酸ナトリウム水溶液	溶解	溶解	溶解	溶解
10%塩化ナトリウム水溶液	88	88	100	104
エチルアルコール	103	96	176	114
エチレングリコール	95	97	102	102
トルエン	117	99	177	108
食用油	100	93	74	88

アスレイヤC採用に当たっては、上表を参考にしてください。

技術審査証明

技術審査証明とは「建設技術審査証明事業(建築技術)」は、平成13年まで建設大臣告示に基づいて建設大臣から認定を受けて14の公益法人が行ってきた「民間開発建設技術の技術審査証明・証明事業」の実績をふまえて、建設技術審査証明協議会が創設した事業です。

この事業は、建築物等に用いられる各種技術(設計、材料、部材、構法、施工、検査、保全、改修、解体等)に関し、民間で開発された様々な新しい技術について審査・証明を行うことで、民間における研究開発の促進と、それらの新技術を建設事業に適正かつ迅速に導入することを図り、建築技術水準の向上に寄与する目的で実施されています。



材料紹介

レイヤコートC



常温反応型改質アスファルト塗膜材(平面部用)。

20kg/セット
(共通A剤:5kg/缶、B剤:15kg/缶)

レイヤコートC 立上り用



常温反応型改質アスファルト塗膜材(立上り部用)。

20kg/セット
(共通A剤:5kg/缶、立上り用B剤:15kg/缶)

アスレイヤ減粘剤



レイヤコートC用の減粘剤。
最大添加可能量:5%

6kg/缶

アスレイヤ硬化促進剤



レイヤコートCの硬化促進剤。
最大添加可能量:1%

6kg/缶

OTプライマーA



コンクリート、モルタル下地用のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマーMブルー



塗布した部分が識別しやすい青色に着色した速乾性の仲介プライマー。

8kg/缶

プライマーBP



金属下地用ウレタン系プライマー。
1液湿気硬化型で硬化時間が短く、小面積にも使いやすい小容量缶。

0.45kg/缶
※有機則該当

水性プライマーL



レイヤコートCや各種金属下地との接着が良好な、アクリル系水性プライマー。F☆☆☆☆取得。

18kg/缶
※下地種類により、塗布時にハジキが見られる場合は乾燥後塗り重ねる。

ガムクールFX



裏面に全面粘着層を設けた改質アスファルトシート。表面はフィルム仕上げ。

1m×16m巻
厚さ:1.5mm

ガムクールFS



裏面に部分粘着層を設けた改質アスファルトシート。表面はフィルム仕上げ。

1m×16m巻
厚さ:1.0mm(厚みには粘着層含まず)

ガムクールキャップ



裏に全面粘着層を設けた砂付改質アスファルトシート。

1m×8m巻
厚さ:2.9mm

レイヤキャップ



表面を砕石砂で仕上げた露出防水用改質アスファルトシート。

1m×8m巻
厚さ:3.0mm

レイヤベスト



薄く柔軟性に優れた改質アスファルトシート。
裏面は不織布。

1m×20m巻
(カット品:200mm×20m巻)
厚さ:1.0mm

マットFCⅡ



表面拡大

表面のメッシュを埋める要領で塗膜材を塗布する
立上り用補強布。
裏面は不織布仕上げ。

1,050mm×50m
(カット品:200mm×50m)

Pシート



立上りをモルタル仕上げにする際などに使用する
不織布シート。

1,020mm×20m巻

ダンパーシート



両面に粘着層を設けた、露出断熱防水用の防湿
シート。

1m×32m
厚さ:0.8mm (厚みには粘着層を含む)

絶縁クロス1000



ポリプロピレンのフラットヤーンクロスを使用し
た絶縁材。

1m×100m巻

SPファインカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防
水材専用水性保護塗料。
日射反射率50%以上の高反射タイプ。

18kg/缶 4色

SPスーパーサーモコート
SPサーモコート



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョンと骨材
で構成された、高耐久・高反射厚膜水性保護塗料。

各18kg/缶
SPスーパーサーモコート 1色
SPサーモコート 3色

SPミッドカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防
水材専用水性保護塗料。
照り返しによる眩しさを抑えた高反射タイプ。

18kg/缶 4色

SPクリーンカラー



土、砂、花粉、珪藻類等の自然環境に起因した推積
物の影響から防水層表面を保護する効果を持つ、骨
材入り高反射保護塗料。

18kg/缶 3色

SPベース



骨材入水性保護塗料。市販の砂骨ローラーにて塗
布する。

8kg/缶

SPトナー



SPシリーズ保護塗料の工程管理用着色材。

1kg(600ml)/缶(計量カップ付)

OT洗浄剤



弱溶剤系洗浄剤。

15kg/缶
*減粘剤としての添加はできません。

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料紹介

RBボード スタイロフォームRB-GK-II



RBボード スタイロフォームRB-GK-II

保護コンクリート仕上げに最適な、完全ノンフロンタイプ押出法ポリスチレンフォーム断熱材。熱伝導率:0.028W/m・k

910mm×910mm
厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm

ギルフォームS/W



外断熱用の硬質ウレタンフォーム断熱材。SとWの2サイズがある。

S:605mm×910mm
W:1,200mm×900mm(受注生産品)
厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm
(Sの70、75mmは受注生産)

クールベース



水性ゴムアスファルト系下地調整材。既存アスファルト防水層撤去後の穴埋め、不陸調整他に使用。

クールベース:8kg/缶
クールベースパウダー:16kg/袋

GCライン



防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用する変成シリコン系シール材。

330ccカート
850ccジャンボカート 各10本/箱
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しないので注意。

クールボンド



ギルフォーム貼付用水性接着剤。

16kg/缶

ASパッチ



コーナーやASディスク固定後の増貼り等に使用する片面粘着テープ。

200mm×16m

OTシール



立上り入隅部の膜厚確保のために使用する、速乾性1液のウレタン系シーリング材。

320ccカートリッジ
20本/梱包

ACボンド



アクリルエマルション系接着剤。絶縁クロス1000の固定にも使用。

18kg/缶

RBキャント1500



発泡ポリエチレン製入隅隅緩衝材。裏が粘着面で、立上り際の下地になじむよう切込み入り。

20mm×150mm×1,500mm
34本/箱

モルタルハンガー



モルタル塗布時のラス網引掛フックを備えた、防水層端末固定用ステンレス製アングル。

長さ:2,000mm

各種断熱材 厚さ別梱包数

厚さ (mm)	梱包数 (枚/梱包)		
	RBボード スタイロフォームRB-GK-II	ギルフォーム	
		S	W
25	20	16	10
30	15	14	8
35	15	12	7
40	10	10	6
50	10	8	5
60	8	7	4
70	—	6	3
75	6	5	3

ステンレスペーパスNⅡ



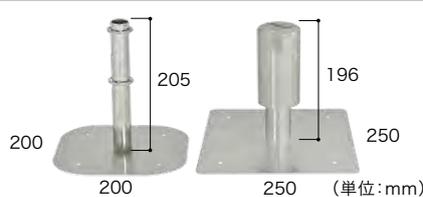
キャップが設置しやすいガイド付き

(単位:mm)

防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

ステンレスペーパスWⅡ

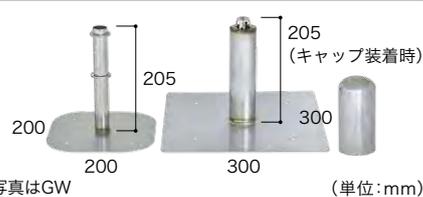


(単位:mm)

断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

ステンレスペーパスG/GW



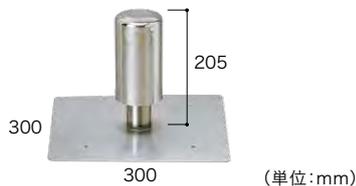
(単位:mm)

写真はGW

逆流防止弁付の平面部用通気材。Gは非断熱用、GWは断熱工法用の二重式。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱 ※受注生産品
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

ステンレスペーパスN

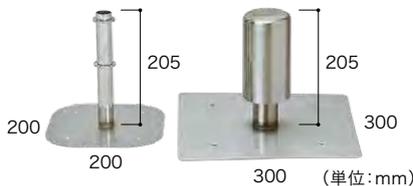


(単位:mm)

防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

ステンレスペーパスW

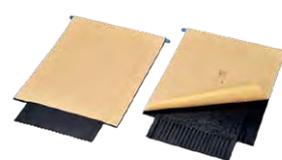


(単位:mm)

断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

ペーパス(立上り用)



合成ゴム製の立上り部用通気材。
10mに1カ所程度を目安に設置。

幅:240mm
高さ:350、500、700、1,000mm
各サイズ 5枚/箱

ステンスタイ362



ステンレスペーパスNⅡ・WⅡ設置に使用する防水層端部ステンレス製締結バンド

長さ:362mm
20本/袋 簡易工具同梱

ステンレスバンドF



貫通管など、パイプ廻りの防水層端部固定用バンド。パイプの寸法に合わせてフープを切断して使用するフリーサイズ品。

フープ 5m
クリップ 10個/袋

工具紹介

アスレイヤローラー



平面部へのルーフィング貼付け時に用いる転圧作業用のルーフ押し器。

ステッチャー



防水シートの出入隅部、3枚重ね部等の転圧用ローラー。

5本/箱

平板転圧ローラー/Si



転圧施工用の樹脂製小型ローラー。平板転圧ローラー-Siは、ローラー部がシリコンチューブ製。

ローラー幅:145mm
直径:約20mm Si 約27mm
各1個

ゴムクシバケC-S



レイヤコートC塗布用刷毛。
最大塗布量:1.3kg/m²

幅:150mm 1個
※交換用ゴム(5枚入)別売あり。

ゴムクシバケC-L



レイヤコートC塗布用刷毛。
最大塗布量:1.3kg/m²

幅:300mm 1個
※交換用ゴム(5枚入)別売あり。

ゴムクシレーキC



レイヤコートC平面部塗布用レーキ。
最大塗布量:1.4kg/m²

幅:300mm 1個
※交換用ゴム(5枚入)別売あり。
*柄は市販品を別途ご用意ください。

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
塗膜防水材・添加剤等	レイヤコートC	20kg/セット (共通A剤:5kg/缶、B剤:15kg/缶)	常温反応型改質アスファルト塗膜材 平面部用
	レイヤコートC 立上り用	20kg/セット (共通A剤:5kg/缶、立上り用 B剤:15kg/缶)	常温反応型改質アスファルト塗膜材 立上り部用
	アスレイヤ減粘剤	6kg/缶	レイヤコートC用減粘剤
	アスレイヤ硬化促進剤	6kg/缶	レイヤコートC用硬化促進剤
	OT洗浄剤	15kg/缶	洗浄剤
シート類	ガムクールFX	1m×16m巻	粘着層付改質アスファルトシート
	ガムクールFS	1m×16m巻	部分粘着層付改質アスファルトシート
	レイヤキャップ	1m×8m	砂付改質アスファルトシート
	レイヤベスト	1m×20m巻 (カット品:200mm×20m巻)	改質アスファルトシート
	ガムクールキャップ	1m×8m巻	粘着層付砂付改質アスファルトシート
プライマー	OTプライマーA	16kg/缶	コンクリート、モルタル下地用プライマー
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速乾性伸介プライマー
	プライマーBP	0.45kg/缶	金属下地用プライマー
	水性プライマーL	18kg/缶	アクリル系プライマー
断熱材	RBボード	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	スタイロフォームRB-GK-II	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	ギルフォームS	605mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	硬質ウレタン系フォーム 70mm、75mmは受注生産品
	ギルフォームW	900mm×1,200mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	硬質ウレタン系フォーム 受注生産品
保護塗料	SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高耐久・高反射 水性アクリル系保護塗料 色:1色
	SPサーモコート	18kg/缶	高耐久・高反射 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPクリーンカラー	18kg/缶	高強度・高反射 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPファインカラー	18kg/缶	高反射 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SPミッドカラー	18kg/缶	高反射・低明度 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SP ベース	8kg/缶	アクリル系水性保護塗料
	SP トナー	1kg(600ml)/缶(計量カップ付)	保護塗料工程管理用着色剤
補助シート類	マットFCII	1,050mm×50m(カット品:200mm×50m)	立上り用補強布
	Pシート	1,020mm×20m巻	立上りモルタル仕上げ用不織布シート
	絶縁クロス1000	1m×100m巻	ポリプロピレン製フラットヤークロス
	ダンパーシート	1m×32m 厚さ:0.8mm (厚みには粘着層含む)	部分接着型防湿シート
その他	GCライン	330ccカート 850ccジャンボカート 各10本/箱	変成シリコン系シーリング材
	OTシール	320ccカートリッジ 20本/梱包	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
	RBキャント1500	長さ:1,500mm 34本/箱	入隅用緩衝材
	FGボードE	303mm×1,494mm 厚さ:15mm	立上り乾式保護ボード
	ACボンド	18kg/缶	仮固定用アクリルエマルション系接着剤
	ASパッチ	200mm×16m	改質アスファルト系増貼り用片面粘着テープ
	クールボンド	16kg/缶	水性ギルフォーム用接着剤
クールベース	混和液:8kg/缶 パウダー:16kg/袋	水性ゴムアスファルト系下地調整材	

立上りの仕上げバリエーション

アスレイヤCは、立上りの仕上げバリエーションが選べる、
材料の組合せが選べる、などこれまでになかった独自の特長を持つ工法です。

立上り仕上げイメージ

アスレイヤCの立上り部分は、3つの仕上げバリエーションから選ぶことができます。状況に応じて選択してください。



保護仕上げ
(FG ボード、モルタル仕上げ等)



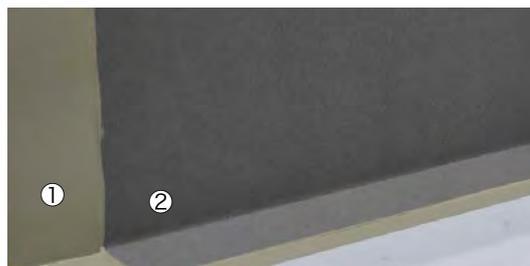
露出砂付仕上げ
(砂付ルーフィング)



露出塗膜仕上げ
(塗装)

立上り部材料組合せ(3パターン)

アスレイヤCでは、立上り部の材料組合せを変更することができます。組合せは以下の3パターンとなり、性能がそれぞれほぼ同等となるため、⑦④⑤を相互に入れ替えることが可能です。状況に応じて選択・対応してください。(仕様によっては入れ替えが不可な場合もあります。使い分けなどの詳細については各仕様ページをご覧ください。)



⑦... ②レイヤベスト
(①レイヤコートC 立上り用塗布 1.2~1.3kg/m²)



④... ①レイヤコートC立上り用1.2~1.3kg/m²
+②マットFCII+③レイヤコートC立上り用1.2~1.3kg/m²



⑤... ①ガムクールFX

気温が5℃以下でも施工が可能

アスレイヤC工法で使用する塗膜材「レイヤコートC」は、A剤・B剤を混合する反応硬化型です。気温が5℃以下でも施工が可能です。流動性に優れ、水密性もしっかり確保できます。加えて、アスレイヤ硬化促進剤を用いることで効率的な施工が可能です。

【添加量と可使時間、次工程可能時間について】

気温	硬化促進剤添加量	可使時間	次工程可能時間
5℃	0(未添加)	60分以上	30時間
5℃	0.5%	約50分	12時間
0℃	0.8%	約40分	10時間
-5℃(参考)	1.0%	約30分	10時間

※「次工程可能時間」は気を付ければ上に乗ることが出来、次の工程（レイヤコートCの塗り継ぎ、保護塗料施工）可能な時間のことを指します。
※左記の可使時間、次工程可能時間は現場環境によって前後する可能性があります。
※添加過剰となると、シートに不具合を起こす場合があります。所定の量をお守りください。

製品の取扱いと施工についての注意事項

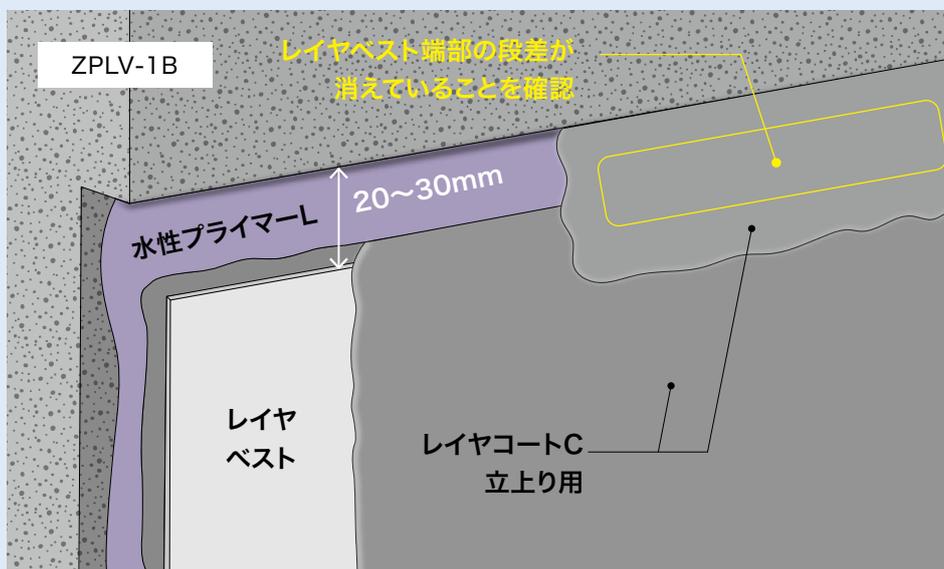
施工時の注意点について

- レイヤコートCまたはレイヤコートC立上り用を5日以上あけてから塗り重ねる場合は、OTプライマーA(0.15kg/m²)または水性プライマーL(0.15kg/m²)、または速硬化OTプライマーMブルー(0.15kg/m²)を塗布してください。
- 塗布後硬化・乾燥するまで養生が必要です。硬化・乾燥前の防水層に水をこぼしたり、物を置いたり、歩行したりしないでください。
- 立上り砂付仕上げにおける保護塗料の塗布量は露出工法立上り部を参照ください。
- 水張り試験は硬化を確認してから行ってください。施工後24時間以上が目安ですが、硬化時間は気温や湿度、換気などの条件で変わりますので、歩行可能な状態まで硬化していれば水張り試験は可能です。
- エンシンシートには、レイヤコートC、レイヤコートC立上り用は接着しません。
- レイヤコートC施工の際、ルーフィング類の貼付工程には減粘剤は使用できません。
- ステンレス下地・硬質塩ビ下地・鉛下地は目荒らしを行った上、水性プライマーLまたはプライマーBPをご使用ください。
- その他の金属、ドレン廻り等は水性プライマーLまたはプライマーBPをご使用ください。
- ふくれ防止脱気装置を設置してください。(平面部: ステンレスペーパー各種、ペーパー(立上り用) 価格別途)
- 立上り部塗膜仕上げでは、保護塗料塗布までの期間は、夏季3日以内、春秋冬は5日以内を目安とし、期間を過ぎた場合はOTプライマーA(0.15kg/m²)を塗布してください。
- 剥離の原因になりますので、保護塗料はレイヤコートCの硬化を確認後塗布してください。
- 緑化帯・土砂が堆積する場所にはSPクリーンカラーをお使いください。
- 保護塗料をSPクリーンカラーにした場合の塗布量: 通常0.5~0.6kg/m²(1回塗り)、堆積物が予測される場合0.7~0.8kg/m²(2回塗り計)。仕様番号末尾[・SC] 例ZSL-200S・SC
- 保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー、SPクリーンカラー)により設計価格は異なります。
- 環境対応溶剤を使用していますが、屋内での施工時は必ず換気をしてください。

立上り端部を押え金物を用いずに納める場合

立上り最上層をレイヤベスト+レイヤコートC立上り用で仕上げる際、端部の押え金物を用いずに納めることが可能です。

対象仕様: ZPLV-2B、ZPLV-1B、ZILV-2B、ZILV-1B



※モルタル仕上げとする場合、モルタルハンガー棟でラス網を別途支持してください

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。